

新しい地域づくりビジョンの策定について

1 目的

中長期の社会経済を展望しつつ、2030 年の愛知のあるべき将来像と、その実現に向けて 2020 年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示す。

2 目標年度

リニア中央新幹線（東京 - 名古屋間）の開通後の 2030 年頃を展望し、2020 年を目標

3 ビジョンの構成

◆中長期の社会経済展望と地域づくりの目標

人口や産業経済の見通し等を踏まえつつ、2030 年の社会経済を展望し、愛知のあるべき将来像を示す。

◆重要政策課題と取組方向

あるべき将来像を実現するために、県民生活、産業経済、県土基盤の各分野にわたって、特に重要となる 10 程度の政策課題を設定し、2020 年までに取り組むべき政策の方向性を示す。

◆地域別の取組方向

尾張・西三河・東三河の 3 地域に分け、それぞれの地域の課題と将来像、取組方向を示す。

※あるべき将来像を実現する上でのいくつかの数値目標を設定

4 検討体制

(1) 有識者懇談会〔第 1 回 7 月 18 日開催〕

- ・学識者 6 名で構成
- ・懇談会の下に、「県民生活」、「産業経済」、「県土基盤」の 3 つの分科会を設置

(2) 市町村との意見交換

○地域政策懇談会〔5～7 月に 8 地区で開催〕

市町村長、商工会議所・商工会代表と知事との意見交換

○市町村との意見交換会〔10 月頃〕

市町村企画担当部課長との意見交換

(3) 国、関係団体等との意見交換〔8～10 月頃〕

国出先機関、経済・労働団体、地域づくり団体等との意見交換

(4) 県民の意向把握

○県政世論調査〔7 月に調査実施〕

○地域づくりシンポジウム〔11 月頃に尾張・三河で開催〕

5. スケジュール

秋に骨子を公表、平成 26 年 3 月策定